



～あふれ出る湧き水と瑠璃色の水辺の町～

針江・霜降



JAPAN HERITAGE

日本遺産

はりっしも
Harisshimo vol.6 2017.7

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

湧き水と自然の町に
小さな川がある

Message

針江・霜降地域は国の「日本遺産」・「重要文化的景観」の選定を受けています。

高島市の

「水の文化を学ぶ」講座

特別講演会

「高島 水煌めく郷
高島の日本遺産が照らす未来」

- ・日時：8月20日（日）
14：00～16：00
- ・会場：高島市観光物産プラザ
- ・講師：大沼 芳幸 氏
(滋賀県文化財保護協会 普及専門員)
1954年山形県新庄市生まれ。2011年滋賀県立安土城考古博物館副館長。



H Harisshimo
ほっこりスポット

はりっしも探索

■プログラム

<第1部> 14：10～14：40 プレゼンテーション

「ローカルな活動が支える地域の宝」高島市の日本遺産に選ばれた各地域の紹介と活動報告を行います。

<第2部> 14：40～16：00 特別講演会

■主催：日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会高島地域協議会、海津・西浜・知内水辺景観まちづくり協議会 / 針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会 / 大溝の水辺景観まちづくり協議会 / 安曇川流域文化遺産活用推進協議会

★定員200名 参加費：無料 参加方法：メールまたはFAXで参加申し込み必要。

★申込先：Mail:oomizo.mizube@gmail.com FAX:0740-36-2012



高島独自の水にまつわる 信仰や文化について学び、そこから見えてくる日本の未来の姿について考えます。

行者堂 文化の継承

霜降区長 山川 隆



■6世紀頃、中国から仏教が伝わっても、日本人の心のよりどころとして、仏教と融合しながら根強く残っている「山岳信仰」。大峰山参拝はその中のひとつです。これを祀っているのが、霜降区と針江区の境にある「行者堂」です。月1回、大人衆がおつとめをされ、年に1回、大峰山参拝をしていますが、区民でも若い人たちはほとんど知りません。

そんな中、老朽化に伴う建替えや補修問題が何年も前から検討されています。お金をかけて建て直すこと（大変難しいが）も大切ですが、そこに人々による文化が継承されないと、いずれまた子供や孫の時代になってこの問題が出てくる。行者堂も今の若い人たちに受け入れられるものに変えていかないといけない。そのためにも、今年は区民の少しでも多くの方々が訪れる機会を設けていきたい。

この町に生まれて

針江区長 福田 久男



■私が、針江に生まれてからもうすぐ63年が経とうとしています。思い起こせば、物心ついた時から針江大川がありました。家の前には行者堂があり、今では考えられませんが泳いだり、また、土手の上から飛び込んだりしました。今となっては、懐かしい思い出です。

現在では、水泳こそ出来ませんが浮き輪等で川流れを楽しんだり、二ゴイを網で捕まえたりと、これから黄色い歓声上がる季節を迎えます。今までも、これからも針江大川は私達の大切な財産です。昔と比べると外観は少し変わりましたが、脈々と流れるこの大川を大切に守っていくことは、今を生きる私たちの役目だと思います。これからも、子々孫々まで住みよい街であり続けてほしいと願うばかりです。